

## 疫学研究に関する情報公開

福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成26年6月 福島県立医科大学放射線健康管理学講座 教授 大津留晶

【研究課題名】子どもと親の心身の健康に関する集団調査－福島県川内村住民と長崎県長崎市住民との比較－

【研究期間】 平成26年7月～平成29年3月

【研究の意義・目的】福島県川内村は、政府の福島原発事故収束宣言を受け、2012年4月より帰還事業を開始し、住民の帰村が始まっています。帰村している住民は高齢者が多く、子どものいる若い世代はいまだ県外への移住や避難生活を続けています。子どもたちは、震災前に比べて友達も減り、避難生活を体験したことでのストレスを抱えていると考えられ、同時に子どもの親は、子どもの学業や将来の子どもの健康不安を抱えていると考えられます。これらを踏まえて東日本大震災から3年が過ぎた現在、先の東日本大震災が子どもたちの心身にどのような影響を及ぼしているのか科学的調査が必要であると考えます。チェルノブイリ等の災害においても、これまで子どもの心身健康に焦点をあてた研究は多くありません。本研究は、川内村の「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の結果、及び長崎市に住む子どもやその親と比較検討することで、川内村住民のストレス体験の影響を評価することを目的とします。またその結果をもとに、心のケアの為の支援活動を計画、実施します。

【研究の方法】

川内村児童と長崎市の児童とその保護者の集団のデータ比較から、震災等の多重ストレスの心身への影響を調べるのが目的です。本研究は、放射線健康管理学講座、神経精神医学講座、災害こころの医学講座、災害医療総合学習センターと長崎大学との共同研究である。

1. 対象者は、川内村に住んでいる6歳～15歳の小中学生40人（ストレス体験群）と長崎市の小学生の保護者100人、中学生とその保護者100人の合計200人（コントロール群）とに設定します。
2. 対象者への調査の実施に当たり、福島県で実施された県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」のデータを利用し、福島県の対象者の負担軽減を図ります。本学の倫理委員会への申請を行い、承認を得ます。
3. 放射線医学県民健康管理センターへ県民健康管理調査のデータ利用に関する申請書を提出し、福島県川内村住民のみを抽出し使用します。
4. 長崎市の小学生の保護者及び中学生とその保護者のデータは長崎市内の小学校、中

学校で集めます。教員より配布され、記載された質問票は、研究者宛の切手の貼られた返信用の封筒に入った状態で各個人に配布され記入後調査責任者宛に個人で郵送できるようにします。

5. 集めた対象者のデータを分析・評価し、集団及び個人に対する心身両面の健康教育・健康相談の立案・実施を行います。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	放射線健康管理学講座	教授	大津留晶
主任研究者	放射線健康管理学講座	教授	大津留晶
研究分担者	神経精神医学講座	教授	矢部博興
	神経精神医学講座	講師	板垣俊太郎
	福島県発達障害者支援センター	併任准教授	増子博文
	災害こころの医学講座	教授	前田正治
	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻	教授	中根秀之
	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻	准教授	岩永竜一郎
	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻	教授	浦田秀子
	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻	教授	大石和代
	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻	准教授	新川哲子
	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻	助教	金丸由美子
	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻	助教	徳永瑛子
	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻	助教	吉田浩二
	長崎大学原爆後障害医療研究所	教授	高村昇
	長崎大学原爆後障害医療研究所	講師	林田直美

【人体から採取された試料等の利用について】（※）該当ある場合のみ記載

（当該試料等の利用目的を記載）

【他の機関等への試料等の提供について】（※）該当ある場合のみ記載

- ア 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学・作業療法学講座 作業療法学分野 助教 徳永瑛子 へ試料等の提供を行います。
- イ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学・作業療法学講座 作業療法学分野 助教 徳永瑛子 に提供される個人情報項目は次のとおりです。
- ・県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」に含まれている内容で、年齢、性別、居住地、身長、体重、睡眠時間、運動状況、食生活治療中の病気、入院経験、検査の経験（CT 検査、X 線検査）、放射線療法の有無、「子どもの強さと困難さアンケート（SDQ）」における「攻撃的行為」「他動」「情緒」「仲間関係」「向社会性」の5分野 25 項目の結果等についてです。
- ウ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学・作業療法学講座 作業療法学分野 助教 徳永瑛子 への提供の手段、方法は次のとおりです。
- ・外部電子媒体（USB等）を使用し、対面下において手渡しで行います。データ提供において、外部電子媒体の郵送やメールでのやりとりは行いません。
- エ なお、被験者ご本人又は代理人の方から、被験者ご本人が識別される個人情報を本学に所属する者以外の者へ提供することを停止する請求があった場合、それに応じます。

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、

利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学医療人育成・支援センター内

災害医療総合学習センター 担当 吉田浩二

電話:024-547-1488 FAX: 024-547-1557

E-mail:kouji@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX :024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当

電話:024-547-1825 FAX: 024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp